

平成 25 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

事務事業名	農業振興特別対策事業	予算事業名		担当課	田園都市課			
会計名称	一般会計	予算科目	6 款 1 項 3 目	所属長名	實淵孝則			
総合計画での位置づけ	地域資源を活かし、新たな発展を生む産業をつくる			担当責任者名(記入者)	山本 恵理子			
				電話番号(内線)				
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等	久山町農業振興特別対策事業補助金交付規則				
事業の対象	機械利用組合		実施期間	【開始年度】	平成 25 年度			
				【終了年度】	平成 25 年度(予定) <input type="checkbox"/> 設定なし			
事業の目的	農業機械の共同利用による集落営農の展開を図りながら、共同機械の有効利用によるコスト低減と農作業の効率化を目的とする。		事業の内容	農業機械導入に対し、事業費の30%の補助を行う。				
改善策の具体的な取り組み(当初)			改善策の具体的な取り組み(二次評価後)					
事業費及び財源内訳 (千円)								
項目		24 年度決算	25 年度予算	9月末の執行状況	25 年度決算			
事業費	直接事業費	108	1,626		1,626			
	人件費	72	70		70			
	合計	180	1,696		1,696			
財源内訳	国庫支出金							
	県支出金							
	地方債							
	その他							
	一般財源	180	1,696		1,696			
事務量	① 人工数	0.01	0.01		0.01			
	② 人件費単価	7,289	7,073		7,073			
	③ 補助事業人件費							
	人件費(①×②-③)	72.89	70.73		70.73			
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)			26 年度	27 年度	28 年度			
					29 年度			
					30 年度			
					5年間の合計			
成果指標				区分年度	24 年度			
					25 年度			
					26 年度			
					目標 年度			
指標設定の考え方				実績				
				目標				
今年度の課題への対応状況(途中経過)								
事業の事業評価	自己評価(担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 施策の目的そのものである。 施策の目的に沿ったものである。 施策の目的に全くそぐわない。	5	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E	A	自己の課題認識
			町民ニーズへの対応	5 4 3 2 1 町民ニーズに直結する。 受益者のニーズは捉えている。 町民ニーズを捉えたものと言えない。	5			
			町の関与の妥当性	5 4 3 2 1 町が積極的に関与すべきものである。 今のところ関与は妥当と判断できる。 町が関与すべきでない。	5			
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 町民がおおいに満足している。 町民がほぼ満足している。 町民が満足していない。	5			
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 具体策が明確で、成果実績が向上している。 具体策が明確で、成果の向上が期待できる。 問題を解決できる見込みが全く無い。	5			
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多大である。 施策推進に必要である。 施策推進につながらない。	5			
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 活動指標が向上し、新しい活動指標を設定できる。 計画・手段が効率的である。 活動指標の実績が上がらず、効率的な手段でない。	5				
		コスト効率	5 4 3 2 1 予算額内で目標以上の成果実績の向上が見られた。 予算額内で目標の80%以上の実績をあげた。 成果実績に対して、予算額が過大である。	5				
		受益者負担の適正	5 4 3 2 1 コスト効率が良く、サービスとのバランスが良い。 適当な受益者負担と判断できる。 コスト効率が悪く、受益者以外の負担が大きい。	5				
	一次評価(所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 施策の目的そのものである。 施策の目的に沿ったものである。 施策の目的に全くそぐわない。	5	合計点が 14~15 : A 10~13 : B 8~9 : C 5~7 : D 3~4 : E	A	所属長の課題認識
			町民ニーズへの対応	5 4 3 2 1 町民ニーズに直結する。 受益者のニーズは捉えている。 町民ニーズを捉えたものと言えない。	5			
			町の関与の妥当性	5 4 3 2 1 町が積極的に関与すべきものである。 今のところ関与は妥当と判断できる。 町が関与すべきでない。	5			
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 町民がおおいに満足している。 町民がほぼ満足している。 町民が満足していない。	5				
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 具体策が明確で、成果実績が向上している。 具体策が明確で、成果の向上が期待できる。 問題を解決できる見込みが全く無い。	5				
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多大である。 施策推進に必要である。 施策推進につながらない。	5				
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 活動指標が向上し、新しい活動指標を設定できる。 計画・手段が効率的である。 活動指標の実績が上がらず、効率的な手段でない。	5					
	コスト効率	5 4 3 2 1 予算額内で目標以上の成果実績の向上が見られた。 予算額内で目標の80%以上の実績をあげた。 成果実績に対して、予算額が過大である。	5					
	受益者負担の適正	5 4 3 2 1 コスト効率が良く、サービスとのバランスが良い。 適当な受益者負担と判断できる。 コスト効率が悪く、受益者以外の負担が大きい。	5					

農業用機械を共同購入する際、補助をすることにより農業振興に寄与している。町の農業を維持するうえで必要な事業である。

事務事業名	農業振興特別対策事業	予算事業名		担当課	田園都市課
会計名称	一般会計	予算科目	6 款 1 項 3 目	所属長名	實淵孝則
総合計画での位置づけ	地域資源を活かし、新たな発展を生む産業をつくる			担当責任者名（記入者）	山本 恵理子
				電話番号（内線）	
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等	久山町農業振興特別対策事業補助金交付規則	
事業の対象	機械利用組合		実施期間	【開始年度】	平成 25 年度
				【終了年度】	平成 25 年度（予定） <input type="checkbox"/> 設定なし
事業の目的	農業機械の共同利用による集落営農の展開を図りながら、共同機械の有効利用によるコスト低減と農作業の効率化を目的とする。		事業の内容	農業機械導入に対し、事業費の30%の補助を行う。	
改善策の具体的な取り組み（当初）			改善策の具体的な取り組み（二次評価後）		

（担当責任者） 自己評価	妥当性	目的の妥当性	5	A	A	5	目的の妥当性	妥当性	一次評価	
		町民ニーズへの対応	5				5			町民ニーズへの対応
		町の関与の妥当性	5				5			町の関与の妥当性
	有効性	事業の効果	5	A		5	事業の効果	有効性		
		成果向上の可能性	5				5			成果向上の可能性
		施策への貢献度	5				5			施策への貢献度
	効率性	手段の最適性	5	A		5	手段の最適性	効率性		
		コスト効率	5				5			コスト効率
		受益者負担の適正	5				5			受益者負担の適正
課題認識	自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。				農業用機械を共同購入する際、補助をすることにより農業振興に寄与している。町の農業を維持するうえで必要な事業である。					

施策を踏まえた判断	二次評価（所属長）	<input type="checkbox"/>	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。 一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。 行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。	
		<input type="checkbox"/>	町民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。			

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 【評価 B：事務事業の進め方の改善を検討する必要がある。】 先進地の成功事例を参考にしたり、外部の知恵や知識を大いに活用し、関係部署の連携を図り早急に商品の確立を行っていただきたい。なお、試験的な施策であっても、具体的な目標設定と明確な事業計画を作成すべきである。健康推進のイメージを商品開発に役立ててブランド化できると良い。
------------	------	---

経営者会議の最終判断	事業の方向性 <input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 右記の点を見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 <input type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。	コメント欄
	<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>	